

安心・安全な丸亀をつくる

丸亀市議会議員

おお

にし

ひろし

大西

浩通信

vol.7



ごあいさつ

日頃より大変お世話になっております。

皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年の大雨災害以降、命にかかわる暑さと猛暑、相次ぐ台風、地震など「天変地変」を感じる日々です。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

【みんなに知らせる】、【みんなで議論する】、【みんなで創る】活動を地域や議会の中でより一層、深めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。

丸亀市議会 市民クラブ 大西 浩

一般質問

未来のためのごみ削減の現状

質問 限りある資源を未来に残していくために、市民、企業、行政が一体となってごみ削減、リサイクル率向上に取り組まなければならないが、現状の課題は。また、消費税率引き上げが指定ごみ袋に及ぼす影響と今後の方針を伺う。

生活環境部長 本市のごみ回収量を平成17年度と29年度で比較すると、4%削減できている。内訳では生活系ごみは減少しているが、事業系ご

みは増加しているため、今後は事業系ごみの削減への取り組みが課題となる。また、同じ年度で資源ごみの収集量を比較すると、35.6%減少している。この原因として軽いペットボトルへの転換や商業施設での店頭回収の普及が考えら



れる。今後、資源ごみ回収拠点の増設など更なるリサイクル率向上に努めたい。

指定ごみ袋は、現在のところ料金改定の予定はないが、消費税率引き上げ後の動向を見ながら対応する。

総括質疑

本市で学び働く外国人共生の取り組み

質問 出入国管理法の改正により、外国人労働者の増加が見込まれている。本市にも多くの外国人労働者が暮らしており、共生のための支援策強化が求められるが、どう取り組むのか。

市長 外国人からの相談や各種手続きには、国際交流協会と連携し、通訳などにより対応している。また、保育現場などでは外国語翻訳資料やスマートフォンの翻訳機能などを利用し業務に当たっている。近年は相談業務が増加し、専門性も高くなっていることから、今後は外部の協力も得て支援していく。

また、国際交流協会と連携して実施している日本語教室や日本のルール、マナーなどの生活指導を充実するとともに、地域社会の中で外国人が孤立しないように、生活習慣の違いによるトラブルの未然防止に努め、地域での触れ合いや交流に進んで参加できるように多様な手段で情報発信を行っていく。

今後も国籍や民族の違いに関係なく共生できる環境の醸成に努めたい。



お城まつりに参加する
国際交流協会



一般質問

パワハラ被害者への支援策

質問 ①劣悪な労働環境やパワハラなどに苦しみ、働くことが困難になった若者、ひきこもりとなった若者に対する支援の考えは

②近年、自治会加入率が低下している。自治会に関するアンケート調査の結果から見える課題とそれに対する施策を伺う。



健康福祉部長 ①働くことが困難になった方が相談しやすいように各種相談窓口を設置している。また、市内にはNPO法人による若者の就労支援に関する窓口があり、多様な支援を提供している。今後も引き続き関係機関と連携しながらサポート体制の拡充に努めたい。

生活環境部長 ②平成29年度に実施したアンケートでは、活動の維持が精一杯で加入促進を図る余裕がない状況が伺えた。それを踏まえ、自治会加入推進員による未加入世帯への働きかけや、今年度より設ける自治会活動を応援する補助制度の活用を促すなど、引き続き加入促進に有効な取り組みを検討したい。

大西 浩 プロフィール

1965年 (昭和40年)丸亀市垂水町生まれ
1987年 丸亀市役所に入庁
2016年 丸亀市役所退職
2017年~ 丸亀市議会議員初当選
教育民生委員会 所属
2018年 教育民生委員会 副委員長
2019年~ 都市環境委員会 副委員長

HP <http://oonishi-hiroshi.com>

<https://www.facebook.com/j.maru.hiroshi/>

